

平成28年度第2回ICT利用教育改善研究発表会運営委員会
議事概要

I. 日 時 平成28年11月12日(土) 13:30~16:00
場 所 私立大学情報教育協会 事務局

II. 出席者 東村委員長、尾崎副委員長、半谷副委員長、山中委員、皆川委員、
渡辺委員(ネット参加) (事務局 井端、高川、竹苗)

III. 検討事項

今回は主に、平成29年度発表会の方針と募集要項の見直し、さらに今後のスケジュールについて確認した。

1. 平成29年度発表会について

(1) 発表会の方針確認、開催日・会場

- ①発表募集時期を早く周知するため、メール案内と紙媒体の送付(加盟校、非加盟校)ともに平成28年12月中に実施することとする。
- ②加盟校への郵送は学長宛のみとし、文書内に案内依頼先等を記載して、周知の向上を図る。また、大学順の発表一覧を同封して、参加意識を喚起することとする。
会員代表者はメールで通知することとする。
- ③メールによる案内対象者は、国公立大を含めて「2年前」を「前年」に訂正する。
- ④優れた発表を掘り起こすために **FaceBook** を利用してはどうかとの意見があったが、万一炎上した場合は、決定的ダメージになることが危惧されるので、今回は見送ることとする。
- ⑤会場の確保は半谷先生に一任し、後日回答をもらうこととした。また、回答によっては開催日が少し変更になることも了解した。

(2) 発表募集要項

- ①事前に網掛け部分の内容を確認した後、6行目「大臣賞や協会賞」を「大臣賞・私立大学情報教育協会賞や奨励賞」に訂正することとする。
- ②発表会に関するスケジュールは、資料⑤の今後のスケジュールと整合させることとする。資料⑤の3番目の送付日を「平成28年度12月中目途」に、4番目を「総会資料」に、5番目の呼び掛け時期を「1月上旬」にそれぞれ訂正することとする。また、9番目の通知曜日を「水」に修正することとする。
- ③実施事業の発表内容にある「・教育の実践事例と結果」を「教育の改善成果」に、「授賞の有無」を「レフリーの有無」にそれぞれ訂正し、「(レフリー有り・無し)」を削除し、新しく「受賞の有無」を1行挿入して、「有り、無し」を追加することとする。
- ④参考2の第3条「(選考の方法)」を「(授賞選考の方法)」に訂正することとする。

(3) 発表申込用紙

- ①組織的取り組みにおける「構成」欄をすべて削除し、教育分野欄にある「地域創造」の「創造」を削除することとする。
- ②展開するための取り組み欄にある訂正内容を確認した後、各項説明文の末尾に「~の工夫」を追加し、「映像」を「コンテンツ」に、「教室外の事前」を「事前」に、「事後学修の支援」を「事後学修支援」に、「相互評価を通して」を「相互評価を通じて」にそれぞれ修正することとする。
- ③発表内容欄にある「()内のお書き」を「記述して」に、エビデンス行にある「例えば以下の~示して」を「以下の例を参考にして」に訂正し、参考例内の「大学の公式授業~集計結果、」と「大学での~アンケート結果」を削除することとする。
- ④1番目の欄に「研究の目的・目標(例):知識の定着・活用、知識の創造、問題発見・解決能力の向上主体性・多様性・協働性の獲得 など」を追加し、2番目の欄にある「eポートフ

オリオ～学修指導」を「双方向型授業、反転授業、PBL、TBL、事前・事後学修、協調・協働学修など」に訂正することとする。

⑤他の発表との関連欄にある「ない」の欄をすべて削除することとする。

(4) 発表会論文の見本、フォーマット

①1 番目に「研究の目的・目標 (例) : 知識の定着・活用、知識の創造、問題発見・解決能力の向上主体性・多様性・協働性の獲得 など」を追加し、2 番目の「改善しよう」を「改善しよう」に、「かを記述」を「か記述」にそれぞれ修正し、「位置付け」の前に「カリキュラム上」を挿入することとする。

②3 番目の質的分析と量的分析の順番を入れ替え、タイトルをそれぞれ「<質的分析の結果等>」、「<量的分析の結果等>」に訂正することとする。

③質的分析の(例2)の「各大学の公式」を削除し、「集計結果」を「内容」に、(例3)の「独自の」の「の」を削除し、「記述中に」を「内容から」に訂正することとする。

④量的分析の「(例1)」を「(例5)」とし、「合格者数の」を「合格者数に」に訂正し、「(例2)」を「(例3)」とし、「(成績改善)」を削除し、「(例3)」を「(例4)」とし、「プリ・ポストテストの結果、」を「ループリック評価から」に訂正し、「(例4)」を「(例2)」とし、「各大学の」を削除し、「(例5)」を「(例1)」とし、「各大学での公式」を削除して新しい例番順に列挙することとする。

⑤4 番目のタイトルを「考察」とし、本文を「本研究の結果から、ICT の利活用によって教育改善に貢献した要因を考察し、今後の課題や問題点および発展性について記述して下さい。」に改めることとする。

2. 今後のスケジュールについて

次回委員会は5月20日(土)に決定した。前回に予定していた1月21日(土)はキャンセルする。

以上